

新年度のご挨拶

『いまこそ公教育の責任を果たす学校へ』

本年度は、この3年間の中では、新型コロナウイルスの状況が比較的落ち着いた中で新年度がスタートしました。このことはうれしいことである反面、マスクの着用が個人の判断に任されることになったことで、学校としては、新たな指導や対応が必要になっているのだろうと想像します。しばらくの間はこうしたことへの対応が必要になると思われませんが、マスクを外す、外さない、双方の判断が尊重されたうえで、児童・生徒が笑顔で学校生活を送れることを願っています。

また、本年度のスタートは、牧野富太郎の生涯が描かれたNHKの連続テレビ小説「らんまん」の放映により、今後の高知県の観光振興等にもつながりそうな、うれしいスタートとなっています。ドラマの中で次第に植物に興味を持ち、のめり込んでいく主人公を見ていると、牧野博士にとって植物があったように、目の前の子どもたちにとっての何かとの出会いが訪れるよう、充実した教育課程を編成し、主体的に学べる教育活動を展開していくことが大切であると考えます。その出会いは偶然かもしれませんが、児童・生徒に、今と未来を生きていくための資質・能力を育成することにつながる計画と具体的取組があつてこそ訪れる偶然であると考えます。

各学校において、育成する資質・能力を明らかにしたうえで、経年で個々の力を可能性いっぱい伸ばすための大作戦を立てて、取組を進めていただきたいと思います。そういった学校教育活動の実現を図ることが、公教育の責任を果たしていくことの一つの姿でもあると考えます。

中部教育事務所としましても、取組を推進する学校の強力な応援団となれるよう努めて参ります。特に、本年度は、学校の現状に応じて、選択・活用できる支援メニューの充実に努めて参ります。各種学校訪問、集合及びオンライン（オンデマンド）研修、校内研修や教科会等において、具体的説明や資料（動画）等の提供を行って参りますのでご期待ください。

本年度も、管内の市町村（学校組合）教育委員会や学校、関係者の皆様と連携して取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

令和5年4月1日

中部教育事務所長 熊岡 彰